

政策評価シート（令和元～4年度）

分野	7 社会基盤
----	--------

評価責任者	所属	建設局
	氏名	局長 池谷 誠

政策	4 持続可能な運営を図るため、維持管理・更新を計画的に推進します
政策の目的	<p>【社会基盤施設の増加と高齢化・老朽化の進展】</p> <p>○高度経済成長期などに整備された社会基盤施設の高齢化・老朽化が進んでいます。</p> <p>○更新を要する施設の増加により、多額の維持更新費が必要と見込まれています。</p> <p>○「アセットマネジメント」の考え方を盛り込んだ管理計画の着実な実行が求められます。</p>

(1) 総合評価

評価	A：政策の目的が達成されている
理由	<p>政策3 市民・企業との協働・連携による維持管理・活用の推進の評価がBとなっているものの、施策1 維持管理計画に基づいた対策の推進の評価はA、施策2 環境・省エネルギー等を考慮した施設への転換は、道路照明灯のLED化率の達成率126.5%に達し、評価をSとしている。</p> <p>以上のことから、政策の目的は概ね達成されていると判断し、「A」評価とした。</p>

※【評価基準】 S：政策の目的が十分に達成されている。A：政策の目的が達成されている。B：政策の目的があまり達成されていない。C：政策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

指標名	現状値	R4目標値	実績値 (R4.3末時点)	達成率(%) (R4.3末時点)	評価	目標値の算出根拠
施策の達成状況	—	—	—	—	—	
					—	

※【評価基準】 s：既に目標値を達成している、a：目標値を達成する見込みである、b：目標値をやや下回る見込みである、c：目標値を大幅に下回る見込みである

(3) 第4次総合計画に向けた見直し等

<p>定期的な点検によって施設の健全性を把握する中、老朽化の進行等により修繕や更新が必要な施設が数多く見つかっており、これらの対応に莫大な予算が必要となることから、施設の統廃合も含め、これまで以上に計画的・効率的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>社会基盤を将来に渡って持続していくためには、計画的な維持管理に加え、建設業に従事する若手や女性などの担い手確保が課題であることから、第4次総合計画では計画的な維持管理と担い手の確保を政策として掲げて取り組む予定。</p>
--

(4) 政策を構成する施策及び主要事業

施策1	維持管理計画に基づいた対策の推進		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	A	A

施策2	環境・省エネルギー等を考慮した施設への転換		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	S	S

施策3	市民・企業との協働・連携による維持管理・活用の推進		
総合評価結果	R元	R2	R3
	B	B	B

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	7 社会基盤
----	--------

政策	4 持続可能な運営を図るため、維持管理・更新を計画的に推進します
----	----------------------------------

施策	1 維持管理計画に基づいた対策の推進
----	--------------------

施策の目的	今後の社会基盤の維持管理・更新については、厳しい財政状況の下、高度成長期に建設された施設の高齢化・老朽化によって補修ストックが増加していくことから持続可能な運営が求められています。このため、アセットマネジメントの考え方を取り入れ、点検・診断・措置・記録等を繰り返すメンテナンスサイクルによって、施設の長寿命化を図り持続可能で適切かつ効率的・効果的な維持管理・更新を実行し、市民の皆様の安全・安心を確保し、厳しい財政状況下における市の更なる成長を図ることを目指します。
-------	---

評価責任者	所属	建設局 道路部 道路保全課
	氏名	課長 武田 弘

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標である「緊急措置段階の橋りょう及びトンネル未対策箇所数」、「打換えが必要となる道路舗装の割合」については、ともに計画どおり整備を実施し、目標値を達成することができたため、評価は「A」とした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標である「緊急措置段階の橋りょう及びトンネル未対策箇所数」、「打換えが必要となる道路舗装の割合」については、ともに計画どおり整備を実施し、目標値を達成することができたため、評価は「A」とした。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標である「緊急措置段階の橋りょう及びトンネル未対策箇所数」、「打換えが必要となる道路舗装の割合」については、ともに計画どおり整備を実施し、目標値を達成することができたため、評価は「A」とした。
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	0件	0件	100.0%	a	
成果指標	緊急措置段階の橋りょう未対策箇所数	— (平成30年度)	2	0件	0件	100.0%	a	道路法に基づき、平成26年度から5年に1度の法定点検を実施しており、令和元年度から2巡目を計画的に進めている。 1 巡目点検の結果を基に「道路橋長寿命化計画」を策定し、その中で対策の優先順位が一番高い「緊急措置段階」の未対策箇所「無」を継続する。
			3	0件	0件	100.0%	a	
			4	0件	—	—	—	
			1	0件	0件	100.0%	a	
	緊急措置段階の道路トンネル未対策箇所数	— (平成30年度)	2	0件	0件	100.0%	a	
			3	0件	0件	100.0%	a	
			4	0件	—	—	—	
			1	15%未満	12.6%	100.0%	a	
	打換えが必要となる道路舗装の割合	13.8% (平成30年度)	2	15%未満	11.6%	100.0%	a	
			3	15%未満	10.9%	100.0%	a	
			4	15%未満	—	—	—	
			1	15%未満	—	—	—	

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
橋りょう整備事業（道路橋の維持管理）	静岡市道路構造物維持管理計画（道路橋編）に基づく橋りょう補修	1	1	1,633,300	654,995	1,574,567	18.8	1.3	0.4	○
			2	1,947,240	841,233	1,752,971	19.6		2.7	
			3	1,645,313	877,497	1,725,222	21.1		3.1	
			4	—	—	—	—	—	—	
橋りょう整備事業（トンネル補修）	静岡市道路構造物維持管理計画（トンネル編）に基づくトンネル補修	2	1	454,420	316,070	343,919	4.7	0.3	0.1	○
			2	490,800	417,993	726,722	5.5		0.7	
			3	281,500	175,084	278,823	5.6		0.8	
			4	—	—	—	—	—	—	
道路舗装整備事業	①道路舗装整備事業の実施 ②静岡市道路構造物維持管理計画（舗装編）に基づく路面性状調査等の実施	3	1	1,809,100	351,986	1,675,532	21.9	1.5	0.4	○
			2	2,202,780	326,371	1,578,254	19.9		2.6	
			3	1,627,760	933,483	1,893,376	20.5		3.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
上水道施設更新事業（水道管の更新）	「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、配水支管2,286kmのうち令和4年度末までに70.3キロメートルを更新する。 （令和元年度配水支管の更新延長：7.0km） （令和2年度配水支管の更新延長：9.8km） （令和3年度配水支管の更新延長：15.7km）	4	1	1,195,042	654,670	1,014,815	8.0	2.0	1.0	○
			2	2,100,374	578,484	1,442,871	8.0		3.0	
			3	3,531,271	954,470	2,194,533	9.0		3.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
上水道施設更新事業（水道施設の更新）	「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、老朽化した機械・電気設備について、令和元年度から令和12年度末までに更新が見込まれる101箇所のうち27箇所を令和4年度末までに更新する。 （令和元年度水道施設の更新数：6箇所） （令和2年度水道施設の更新数：7箇所） （令和3年度水道施設の更新数：7箇所）	4	1	852,594	0	584,540	6.0	0.0	0.0	○
			2	986,588	114,364	523,772	5.0		0.0	
			3	2,030,254	100,250	698,667	5.0		0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
下水道施設改築事業（下水道管の改築）	「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、再構築を必要とする布設後50年以上の下水道管のうち、17.6kmを改築し、管路の健全度を維持する。 （令和元年度下水道管の改築延長：2.6km） （令和2年度下水道管の改築延長：3.9km） （令和3年度下水道管の改築延長：5.3km）	4	1	399,021	436,374	392,662	2.0	0.0	0.0	○
			2	869,818	369,807	646,632	2.0		0.0	
			3	881,576	511,524	1,049,985	2.0		0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
下水道施設改築事業（下水道施設の改築）	「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、令和元年度から令和12年度末までに改築が見込まれる老朽化した施設160箇所のうち35箇所を令和4年度末までに改築する。 （令和元年度下水道施設の改築数：10箇所） （令和2年度下水道施設の改築数：11箇所） （令和3年度下水道施設の改築数：9箇所）	4	1	2,387,246	0	767,751	5.0	0.0	0.0	◎
			2	2,713,016	1,619,495	2,068,905	7.0		1.0	
			3	2,028,131	1,715,000	2,482,442	6.0		0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	橋りょう、道路トンネルの管理水準を保った維持管理等を継続するための予算調整が必要となる。	点検、補修設計及び工事を計画的に実施し、予算の平準化を図ることにより、管理水準を保つ。
令和2年度	橋りょう、道路トンネルの管理水準を保った維持管理等を継続するための予算調整が必要となる。	点検、補修設計及び工事を計画的に実施し、予算の平準化を図ることにより、管理水準を保つ。
令和3年度	橋りょう、道路トンネルの管理水準を保った維持管理等を継続するための予算調整が必要となる。	点検、補修設計及び工事を計画的に実施し、予算の平準化を図ることにより、管理水準を保つ。
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	7 社会基盤
----	--------

政策	4 持続可能な運営を図るため、維持管理・更新を計画的に推進します
----	----------------------------------

施策	2 環境・省エネルギー等を考慮した施設への転換
----	-------------------------

施策の目的	点検により補修が必要と判定された道路照明灯の修繕や更新とあわせて、水銀灯のLED化を進めることにより、電気使用量を抑え、省エネルギー化を図ります。
-------	---

評価責任者	所属	建設局 道路部 道路保全課
	氏名	課長 武田 弘

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標である「既存道路照明灯のLED化した灯数」については、目標値を上回ることができた。しかしながら、今後、補修及び更新を要する残数が区によって偏っており、実施にあたり検討・調整が必要なことから評価は「A」とした。
	令和2年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由	成果指標である「既存道路照明灯のLED化した灯数」については、目標値を上回ることができた。
	令和3年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由	成果指標である「既存道路照明灯のLED化した灯数」については、目標値を上回ることができた。
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	165基	224基	135.7%	S	
2	330基	452基	137.0%	S				
3	495基	626基	126.5%	S				
4	661基	—	—	—				
指標以外の成果			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
道路附属施設更新事業	①点検結果に基づく道路照明灯更新、補修 ②点検結果に基づく横断歩道橋補修 ③更新計画に基づく道路情報板更新	1	1	574,120	139,778	353,555	4.5	0.3	0.1	○
			2	143,200	425,646	489,594	1.7		0.2	
			3	165,500	14,918	130,939	1.7		0.2	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	道路照明灯の設置数とともに、補修を要する残数が区によって偏りがあるため、更新にあたっては実施体制の検討が必要である。	再度、点検結果と現状を確認し、建替や補修の優先順位を見直す中で、偏りの緩和を図り、スムーズなLED化を進める。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	7 社会基盤
----	--------

政策	4 持続可能な運営を図るため、維持管理・更新を計画的に推進します
----	----------------------------------

施策	3 市民・企業との協働・連携による維持管理・活用の推進
----	-----------------------------

施策の目的	<p>静岡市は、平成17年4月の政令指定都市移行に伴い、広範かつ多様な道路を管理しています。職員や委託業者によるパトロール、補修等の道路維持管理業務により、日々道路空間の安心、安全の確保に努めているところではありますが、全ての道路空間について、常に安心、安全な状態を維持することは、非常に困難です。</p> <p>他方で、自らの手で身近なまちづくりを進めていきたいと多くの市民や企業が考えており、道路空間の美化や緑化、安全について、大きな関心を持っています。そこで、「静岡市道路サポーター制度」では、地域住民と行政が一体となって身近な道路保全を行うことにより、「地域住民の道路愛護意識の高揚」、「より安全で快適な道路空間の保全」、「維持管理費の低減」を図ることを目的とし、市民・企業との協働・連携による道路の維持管理を推進します。</p>
-------	---

評価責任者	所属	建設局 道路部 道路保全課
	氏名	課長 武田 弘

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	チラシの配布等による周知を実施した結果、新規登録団体もあるものの、高齢化に伴い脱退する団体が見受けられ、成果指標である「道路サポーター登録団体数」は、目標値をやや下回ったため、評価は「B」とした。
	令和2年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	チラシの配布等による周知を実施した結果、新規登録団体もあるものの、同数程度脱退する団体が見受けられ、成果指標である「道路サポーター登録団体数」は、目標値をやや下回ったため、評価は「B」とした。
	令和3年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	新型コロナウイルス感染症対策の為にチラシの配布等による周知活動が十分に行えず、新規登録団体もあるものの、脱退する団体も見受けられ、成果指標である「道路サポーター登録団体数」は、目標値を下回ったため、評価は「B」とした。
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	道路サポーター登録団体数	135団体 (平成30年度)	1	138団体	130団体	94.2%	b	
		2	140団体	131団体	93.6%	b		
		3	150団体	135団体	90.0%	b		
		4	150団体	—	—	—		
指標以外の成果			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
道路サポーター制度の利用促進	①道路サポーターによる清掃活動、緑化活動、補修活動及び損傷情報の提供 ②道路サポーターの活動に対する支援	1	1	1,527	0	1,527	0.1	0.0	0.0	○
			2	3,476	0	2,796	0.1		0.0	
			3	2,896	0	1,923	0.1		0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	高齢化を理由に登録を抹消する団体が増加傾向にある。	高齢化の進む団体が継続的に活動できる方法を検討するとともに、令和3年度の目標値及び1年前倒しで設定した達成年度についても再検討する。
令和2年度	1年間を通じて5～6の新規団体の登録があるが、同程度程度の脱退する団体が見受けられるため、登録団体数が増加していかない。脱退の理由は様々だが、令和2年度は企業の団体がほとんどであった。	令和2年度においては、企業団体が脱退する傾向にあったことから、それらの団体が継続的に活動できる方法を考慮するとともに、引き続き目標数値及び目標年度についても検討する。
令和3年度	1年間を通じて5団体の新規登録があったが、脱退する団体も見受けられる。新型コロナウイルス感染症対策のため、チラシ配布の広報活動が中止となったり、集団で活動する行為が縮小傾向にあり、登録団体数が増加していかない。	新型コロナウイルス感染症対策に注意し、2年間中止となっていたチラシ配布等、周知活動を行うと共に、各道路整備課と連携し、新規登録を呼びかけていく。
令和4年度	—	—